

【2022年卒】新型コロナウイルスによる、就職活動への影響は「友人や他の就活生の状況が分かりづらい」が最多。「新型コロナの影響で就職活動が停滞」と回答した学生は、昨年同時期比18.0ポイント減。

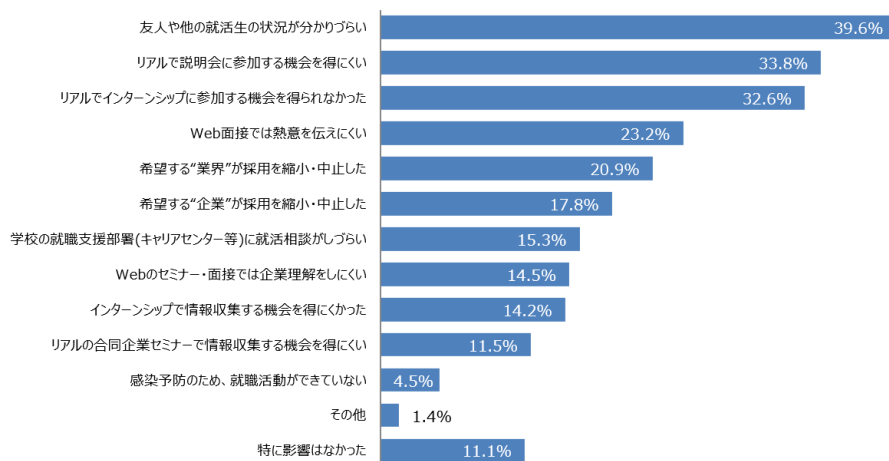
株式会社学情は、2022年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「新型コロナウイルスによる就職活動への影響」に関して調査しました。新型コロナウイルスによる、就職活動への影響は「友人や他の就活生の状況が分かりづらい」が39.6%で最多となりました。次いで、「リアルで説明会に参加する機会を得にくい」33.8%、「リアルでインターンシップに参加する機会を得られなかった」32.6%と続きます。インターンシップや説明会のオンライン化が進んだことで、リアルで同じ業界・企業を志望する学生同士が情報交換する機会が少なく、「他の就活生の状況が分かりにくい」「自分の立ち位置が分かりにくい」と感じる学生が多かったと推察されます。一方、「新型コロナウイルスの影響で就職活動が停滞した」の回答は、昨年同時期よりも18.0ポイント減少しました。企業が、WebセミナーやWeb面接も積極的に活用し、コロナ禍でもスムーズに採用活動を進めていることが、学生の就職活動の所感にも表れていると言えます。

【TOPICS】

- (1) **新型コロナウイルスによる、就職活動への影響は「友人や他の就活生の状況が分かりづらい」が39.6%で最多**
- (2) **これまでの就職活動で苦労したこと、大変だったことは「自分に合いそうな企業をどう探せばいいか」が最多**

- (1) **新型コロナウイルスによる、就職活動への影響は「友人や他の就活生の状況が分かりづらい」が39.6%で最多**

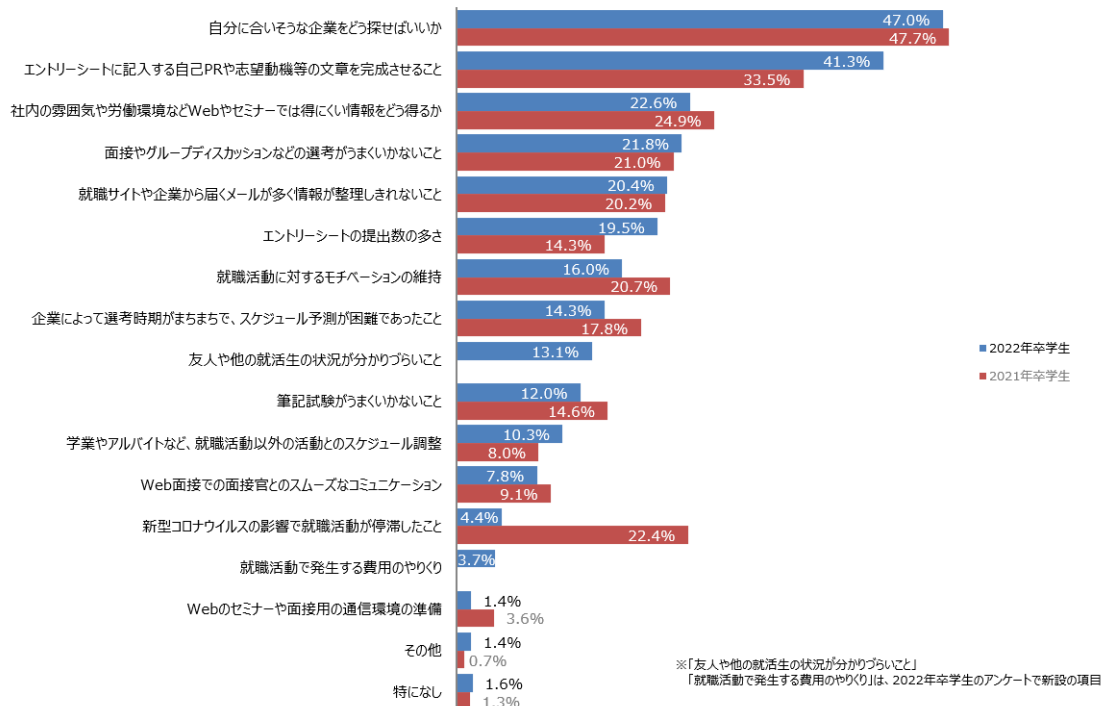
■新型コロナウイルスによって、就職活動にはどのような影響がありましたか？（複数選択可）



新型コロナウイルスによる、就職活動への影響は「友人や他の就活生の状況が分かりづらい」が39.6%で最多となりました。次いで、「リアルで説明会に参加する機会を得にくい」33.8%、「リアルでインターンシップに参加する機会を得られなかった」32.6%、「Web面接では熱意を伝えにくい」23.2%と続きます。インターンシップや説明会のオンライン化が進んだことで、リアルで同じ業界・企業を志望する学生同士が情報交換する機会が少なく、「他の就活生の状況が分かりにくい」「自分の立ち位置が分かりにくい」と感じる学生が多かったと推察されます。

(2) これまでの就職活動で苦労したこと、大変だったことは「自分に合いそうな企業をどう探せばいいか」が最多

■これまでの就職活動の中で苦労したこと、大変だったことを教えて下さい。(最大3つまで選択)



これまでの就職活動で苦労したこと、大変だったことは、「自分に合いそうな企業をどう探せばいいか」が47.0%で最多となりました。次いで回答を集めた「エントリーシートに記入する自己PRや志望動機等の文章を完成させること」41.3%は、昨年同時期と比較すると7.8ポイント増加しました。2022年卒の学生は、実質的に就職活動が開始されるインターンシップ期間から、新型コロナウイルスの影響により、リアルで情報収集する機会が限られていたため、企業理解や志望意欲醸成が難しかったことが背景にあるのではないかと推察されます。一方、「新型コロナウイルスの影響で就職活動が停滞したこと」は4.4%に留まり、昨年同時期よりも18.0ポイント減少しました。企業が、WebセミナーやWeb面接も積極的に活用し、コロナ禍でもスムーズに採用活動を進めていることが、学生の就職活動の所感にも表れていると言えます。

■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2022（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web上でのアンケート
- ・調査期間：2021年6月21日～2021年6月30日
- ・有効回答数：642名

【比較対象】調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2021（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web上でのアンケート
- ・調査期間：2020年6月22日～2020年6月30日
- ・有効回答数：942名